学校番号	1013

令和２年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２	年次	２
使用教科書	「地学基礎　新訂版」（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・固体地球の分野では、内部構造、プレートテクトニクス、地震活動、火山活動、様々な地殻変動について学習します。
・大気と気象の分野では、大気圏の層状構造、オゾン層の働き、様々な気象現象と季節変化について学習します。
・宇宙と太陽系の分野では、宇宙の誕生、銀河系の形成、太陽系の形成と地球の誕生、地球の歴史について、学習します。
・できるだけ、日常生活上の経験と結びつけて学習できるようにします。

２　学習の到達目標

・宇宙、太陽系、地球についての基本的な概念を理解すること。
・地学的な事象についての探究心をもち、自然現象を科学的に理解しようとする意欲をもつようになること。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・地学的な事象について関心をもち、学習に取り組む意欲が見られる。	・地学的な事象について、基本的な概念をもとに考えたり、それを表現したりできている。	・地学的な事象について、観察や実験を行う力が身についている。 ・観察や実験の方法と結果を記録し、整理した上で、レポートを作成することができる。	・地学的な事象について、基本的な知識をもっている。 ・地学的な事象について、基本的な概念を理解している。
評価方法	・学習に対する姿勢。 ・ノートやプリントについての取り組み。 ・レポート等の発表に対する姿勢。 ・定期考査。	・学習に対する姿勢。 ・ノートやプリントについての取り組み。 ・レポート等の発表に対する姿勢。 ・定期考査。	・学習に対する姿勢。 ・ノートやプリントについての取り組み。 ・レポート等の発表に対する姿勢。 ・定期考査。	・学習に対する姿勢。 ・ノートやプリントについての取り組み。 ・レポート等の発表に対する姿勢。 ・定期考査。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球の構成	地球の大きさの測定 地球の形と大きさ 地球の内部構造	○	○		○	a:地球の構成について、興味を持って学習している。 b:地球について基本的概念をもとに考えたり、表現したりできている。 d:地球についての基本概念を理解している。	・学習態度 ・ノート、プリントの取組 ・定期考査
	プレートの運動	プレートテクトニクス 地震と火山 日本列島の地震と火山	○	○	○	○	a:プレートの運動に関心をもち、意欲的に学習している。 b:プレートテクトニクスの概念をもとに考え、説明できる。 c:各地の地震計の記録から震源を推定できる。 d:地震と火山について、基本的な知識をもっている。	・学習態度 ・ノート、プリントの取組 ・定期考査
2学期	大気の構造	大気の分布と組成 大気の層状構造			○	○	c:大気の層状構造について、高度とともに温度が変化する様子をグラフに描ける。 d:層状構造について、基本的な知識をもっている。	・学習態度 ・ノート、プリントの取組 ・レポートの取り組み ・定期考査
	気象	風の吹き方 四季の気象	○	○			a:気象について、基本的な概念を理解している。b:風の吹き方や四季の気象について、基本的な概念をもとに考え、説明できる。	・学習態度 ・ノート、プリントの取組 ・定期考査
3学期	太陽系の構成	太陽 惑星と小惑星、衛星、彗星	○		○		a:太陽系に関心をもち、意欲的に学習している。 c:太陽黒点を観察し、その結果をレポートにまとめられる。	・学習態度 ・ノート、プリントの取組 ・レポートの取り組み ・定期考査
	宇宙と地球の歴史	宇宙の誕生と銀河の形成 太陽系の形成と地球の誕生 地球と生物の歴史	○	○		○	a:宇宙の誕生以降の出来事や地球の大きさの求め方などに興味を持って学習している。 b:宇宙、太陽系、地球の歴史の流れを年表にまとめられている。 d:宇宙、太陽系、地球についての基本的概念を理解している。	・学習態度 ・ノート、プリントの取組 ・レポートの取り組み ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。